

S21 学位保有教員が広げる生徒と地域の幸福度

—文部科学省のデータセットを用いた実証研究—

○遠藤祐菜 (3年) 大江秋津 東京理科大学

RQ 義務教育課程における、教員の修士・博士号保有は、生徒と地域にどう影響があるのか？

目的 義務教育課程において、修士・博士号保有教員が、生徒の学力や幸福度、地域の幸福度に与える影響の実証

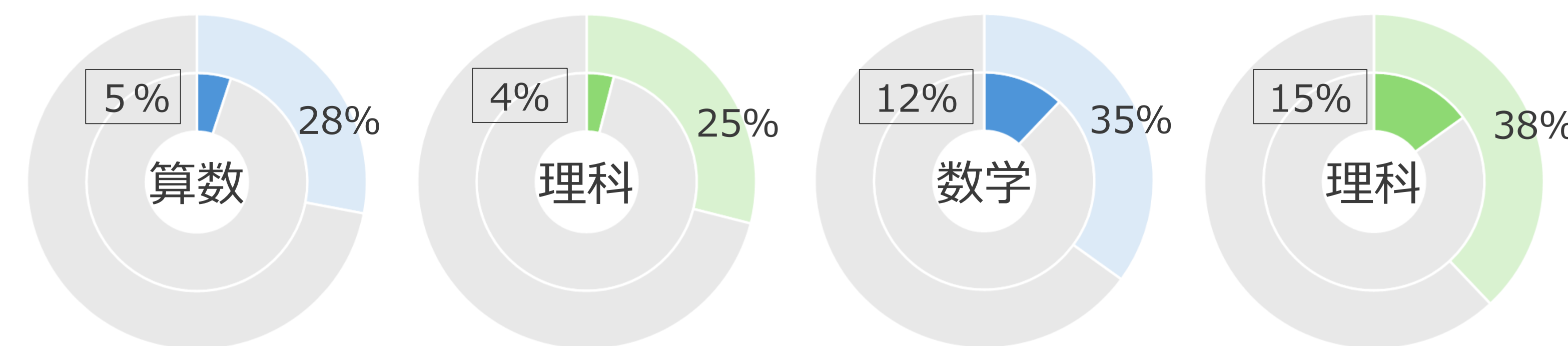
研究背景

教員の修士・博士号保有率

日本の教員の保有率は低い

小学校

中学校



■日本 ■調査参加国平均 (小学校64カ国, 中学校46カ国)
(International Association for the Evaluation of Educational Achievement, 2019)

現状

保有率は年々増加
⇔それらの影響を述べた研究は少ない

日本の取り組み

- 2008年, 国「教職大学院制度」創設 (文部科学省, 2021)
- 2008年, 秋田県「博士号保有教員の特別選考」導入 (秋田県教育庁, 2008)

先行研究

教員の学位の, 生徒や環境への影響を調査した研究は少ない
(Walędziaka, Lopesb, Menezesb & Tormentab, 2017)

仮説図



理論と仮説

修士・博士号保有教員

→上位層の厚さ&内発的動機づけ

秋田県「博士号保有教員の特別選考」の狙い

- 高い志を持つ, 県の上位層の育成
- 面白い仕掛けのある実験や講話によって, 生徒へ「ホンモノ」の世界の体験, 学問の面白さ・深さを伝える (秋田県教育庁, 2008)

県の上位層: その県で全国上位25%に値する割合

内発的動機づけ

外的報酬や圧力ではなく, その活動自体のために活動する動機 (Qureshi, Khawaja, Sokic, Bach and Mesko, 2024)

3つの要素が関係 (Deci, Vallerand, Pelletier, and Ryan, 1991)

- autonomy (自律性): 自分で選び決断し, 主体的に行動すること
- competence (有能さ): 達成したいことをやり遂げる能力
- relatedness (関係性): 社会的環境の中での他者とのつながり

生徒の幸福度

←内発的動機づけ
→地域の幸福度

- 学校環境は, 子供の主観的幸福感に影響を与える (Bong & Min, 2015)
- 内発的動機づけ→幸福度と強い相関 (鷲見, 2015)

地域の幸福度: 市民の「暮らしやすさ」「幸福感」
子供の幸福度→家族関係と相関 (Minguez, 2020) (デジタル庁, 2024)

データと分析手法

分析単位: 都道府県

対象年度: 2007-2024年

分析手法: 因子分析, 重回帰分析 (Stata)

修士・博士号保有教員

『学校教員統計調査』, 文部科学省

県の上位層

『全国学力・学習状況調査』, 国立教育政策研究所

内発的動機づけ

『全国学力・学習状況調査』アンケート項目, 国立教育政策研究所

生徒の幸福度

『全国学力・学習状況調査』アンケート項目, 国立教育政策研究所

地域の幸福度

『地域幸福度(well-being)指数』,
一般社団法人スマートシティ・インスティテュート

『全国学力・学習状況調査』アンケート項目 (一部抜粋)

自律性	5年生までに受けた授業では, 課題の解決に向けて, 自分で考え, 自分から取り組んでいましたか
	5年生までに受けた授業では, 各教科などで学んだことを生かしながら, 自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
有能さ	算数の問題が解けたとき, 別の解き方を考えようとしていますか
	自分には, よいところがあると思いますか
	先生は, あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
関係性	将来の夢や目標を持っていますか
	人が困っているときは, 進んで助けていますか
	困りごとや不安がある時に, 先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
関係性	授業や学校生活では, 友達や周りの人の考えを大切にして, お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか

※本来のカテゴリーや因子分析を参考に観測変数を3因子に分類
3因数の平均点を尺度得点とし, 内発的動機づけを測定

貢献

- 教員の学位が生徒の学力に加え, 心理的要因にも影響することを実証する点
→教育学と心理学への理論的貢献
- 教員の学位が生徒の学力向上に与える影響を明らかにし, 学位をもつ教員が教育に携わることの重要性を示す点→教育学への理論的貢献
- 生徒の幸福度が地域の幸福度に与える影響を実証し, 教育が地域社会の発展や幸福に直結することを示す点→心理学への理論的貢献
- 学位保有教員の増加が生徒の学力や幸福度を向上させることを実証する
→教育政策における学位保有教員の採用促進を支援する実務的貢献

今後の課題と限界

- コントロール変数の深掘り
→教育分野の先行研究を参考に決定
- 経営学の研究からそれている
→経営学の理論を学び, 結びつける
- 修士号と博士号別のデータが無い
→博士号の優位性を実証できない

教育学や心理学への分野横断的な貢献